

2年間でのエアコン整備や奨学金制度の創設を



市長の政治姿勢 (市長の決意と抱負)

問 市長の政治スタンスは。

答 市民の思いを受けとめ、一緒に前に進んでいくような市政を目指していく。

問 本市の将来像やまちづくり、行政運営に対する決意と抱負を聞きたい。

答 子どもを産み育てたいと思えるような環境づくりと教育の充実、産業の多様化と雇用の場の確保により、地域の総合力を高め、定住促進や人口減少の抑止を図りたい。

問 保育所や幼稚園の保護者負担軽減の考えを聞きたい。

答 28年度予算編成や(仮称)第5次総合計画の中で保護者の負担軽減を含め、実施に向けての検討をしたい。

小中学校の普通教室への エアコン設置を

問 28年度から2年間で設置したいとの市長の発言について考えを聞きたい。

答 私としては2年間での整備とし、小中学校ごとの一斉整備が必要と考える。

問 工事を始めるなら、期間

はどれくらいかかるか。

答 工事は、約5カ月かかると思われる。

問 業者は1カ月で工事は完了できると話しているが、短縮できるか。

また、広く地元業者が入札に参加できるような配慮が必要であると思うがどうか。

答 短期間での設置及び市内業者の受注機会の確保を図れるよう検討したい。

公契約条例の制定を

問 労働者の生活の安定と地域経済の活性化のために、公契約条例制定の考えは。

答 制定済み自治体の条例の調査・分析、直方市の施行後の検証結果の研究を進めていきたい。

快適住マイル改修事業の 今後の取り組み

問 快適住マイル改修事業は、24年から3カ年事業展開され、27年はスーパープレミアム商品券の発行で見送ったが、4年間の総括は。

答 住宅リフォーム関係の利用実績として、額的には昨年以上の消費があり、地域経済の活性化に一定の効果があったと考える。

問 28年度の取り組み方針は。

答 アンケート等を踏まえ、事業効果等から、次年度の事

業の可否を判断したい。

本市の奨学金制度の 創設を

問 生活保護世帯の高校生の5人に一人が奨学金を受給し、親や卒業後の子どもの生活に多大な影響を与えている。未来を担う若者を社会全体で支える必要があると思うが。

答 何らかの支援は必要と認識しており、目的やニーズなどを検証し、財源と運用、運営主体などを含め検討したい。

問 国に制度改正も含め、市長から要望してはどうか。

答 教育費は、全て国が持つべきとの基本的な考えを持っており、国に対して見直ししていただくよう働きかけたい。

メンタルヘルス対策と ストレスチェックは

問 法の改正により、12月1日からストレスチェック制度が施行された。市職員や教職員に対する取り組みは。

答 市職員は、定期健診時に17年度から実施している。教職員は自己チェック表を配布し、希望者には、学校保健管理医の面接指導を実施している。引き続き教職員が教育活動に専念できるよう職場環境の充実に向け取り組んでいく。

